

第59号  
発行所  
印南宏後援会  
我孫子市日の出1131  
日本電気労働組合  
我孫子支部内  
発行責任者 野田 泰造

後援会員のみなさん、日頃から温かいご支援、ご声援をありがとうございます。市議会議員の印南 宏です。

今年(平成二十九年)は十一月に一度の参議院選挙と統一地方選挙が重なった年です。それに加えて我孫子市は一月に市長選挙、十一月には市議会議員選挙と一年中が選挙の年となっています。私も四年間の評価をいただく大事な時期を迎えています。

### 新市長の誕生

今年一月二十一日に行われた我孫子市長選挙で新しく星野市長が誕生しました。この厳しい財政難の中で市民サービスを低下させずに持続可能な財政運営をいかに構築していくのか? 事業の選択と集中をどう進めるのか? また団塊の世代の多くが定年を迎える今、地域の人材をどう市政に、まちづくりにかしていくのか? 新市長のリーダーシップが強く求められています。



### 現場主義

### 宏の政治姿勢

さて、私の今日までの政治姿勢は、①市民の代表として清廉な政治、②市民に開かれた政治、③市民参加による我孫子らしいまちづくりを基本姿勢に、市民との対話活動を行ない、現場主義による議員活動を展開してきました。

### 議会改革に集中!

現在、我孫子市の議会改革を先頭に立って進めています。北海道夕張市を例に挙げるまでもなく、多くの地方自治体は財政状況が悪化するなか、少子高齢化が進み、財政破綻や地域の崩壊が危ぶまれているからです。我孫子市もその例外ではありません。市議会の政治的な決断、経営的な判断が自治体の死命を決することにつながります。地方分権の時代、市民に信頼され、行動する市議会の確立が急務となっています。

私は任期中(平成十五年十二月〜平成十九年十一月までの四年間)、様々な「議会改革」に取り組みました。  
※主な改革内容です。

平成十六年九月…本会議のインターネット配信(中継・録画)  
インターネットによる議会中継(含む録画中継)をスタートしました。

平成十七年三月…議員定数の改正  
「三十名」を「二十八名」に改正、平成十九年十一月の一般選挙から適用します。

平成十八年六月…一日一常任委員会  
の開催  
一日一常任委員会の開催により、市民や議員の傍聴の機会を担保し、委員外議員の発言の機会を充実させました。

《市議会議長に就任以降》  
平成十八年十二月…本会議における採決結果を公表  
県内初の採決表示システムの導入をいたしました「席の投票ボタンを押すこと」によって、各議員の賛成・反対を議場内の大型ディスプレイに表示するもの。これにより、議案等の採決結果、すなわち議員個人の意思表明(賛成・反対)を議会日よりやホームページ、会議録で掲載・公開することになりました。

平成十八年十二月…本会議における一般質問の活性化  
対面式(執行部と議員)の一般質問を導入し、議会の活性化に努めました。

平成十八年十二月…本会議における一般質問の開催時間の変更  
本会議の質問を「午後一時」から「午前十時」に改正。執行部の時間外勤務を縮減しました。

これまでの議会改革の基本は情報公開の徹底でしたが、今後は「質」を高める改革へと進めていかなければならないと考えています。

### 広域行政の推進!

また、私は我孫子市という枠にこだわらず常に広域的な立場で活動を展開しています。東葛地域六市(我孫子市、柏市、松戸市、流山市、野田市、鎌ヶ谷市)で構成し、広域的な街づくりについて調査研究している「東葛広域行政連絡協議会」、お隣の柏市と手賀沼を生かしたまちづくりの方向性を広域的に検討する「手賀沼を生かしたまちづくり推進協議会」、古利根沼の保全や利根川の有効活用等を図る目的で発足した「我孫子市・取手市都市づくり連絡協議会」のメンバーに属しています。また、労組系議員で構成している連合千葉議員団の幹事長として多くの議員ネットワークを構築しています。

交通網が発達し、生活圏が拡大するなか、各種行政課題の解決に向けて広域行政の連携、強化の必要性は日増しに重要になっています。



「住んで良かった、住んでみたい」と言われる街づくりを目指して

四年前のある後援会の方からいただいた一言が今も忘れられません。その方からは、男の器量を決める要素として、「三つの惚れ込み」が大切だと教わりました。①印南に住んでいる土地、我孫子を愛し、惚れ込むこと、②自分の女房を大切に惚れ込むこと、③自分が行っている仕事、議員の仕事徹底的に惚れ込んで仕事に打ち込むことの三つです。

時代が地方の自立を求めているとき、説明責任を伴う議会人の一人として、市民に開かれた、頼りになる新しい市議会を構築するため、これからも「住んで良かった、住んでみたい」と言われる街づくりを目指して全力を尽くしてまいります。そして我孫子市議会に、なくてはならない存在となるよう精一杯努めていきたいと思えます。後援会員のみなさんの引き続きのご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

我孫子駅舎の改修

我孫子駅舎の改修について、今年三月議会で「本年六月を目途に駅構内エレベータの新設、駅構外通路の拡幅、北口階段の西側からの階段取り付け、西口改札口の新設を含めた全体概略図を、JR東日本東京支社が作成中である」ということだった。また、今後のスケジュールについても、「全体概略図の整備内容やJRとの費用負担の考え方を整理し、議会と協議を行い、了解をいただいた後、具体的な整備の時期や方針を決定し、JRが交通バリアフリー法で予定して

いるエレベータの設置年度である平成二十二年に合わせて整備していきたい」との答弁だった。

我孫子駅改修概略図

JR東日本東京支社は、作成中であつた全体概略図、正式には「我孫子駅自由通路拡幅及び構内バリアフリー検討図」を五月初旬に我孫子市に提出。私たち議員には五月十七日の市政懇談会資料として配布された。内容は「自由通路の拡幅」について三案及び「西口改札新設」について二案の計五案が提示されている。

六月議会で市長は、「今回の改修計画はJRのバリアフリー計画に合わせ、自由通路拡幅を行うもので、全面的な改修計画ではない。時間的な制約の中で事業化していくものであるため実現可能な現実的な改修案を提示した」と述べた。

四十年一度のチャンス

駅北口西側地区は、日立精機跡地の大型マンション群開発、南口のけやきプラザのオープンと周囲の環境が大きく変化している。また、市が現在進めようとしている「手賀沼文化拠点整備構想」の玄関口である我孫子駅は、四十年に一度の大改修のチャンスを迎えている。将来のまちづくりを考慮に入れた夢のふくらむ駅改修を行わなければならない。失敗は許されない重要な事業だと考えている。

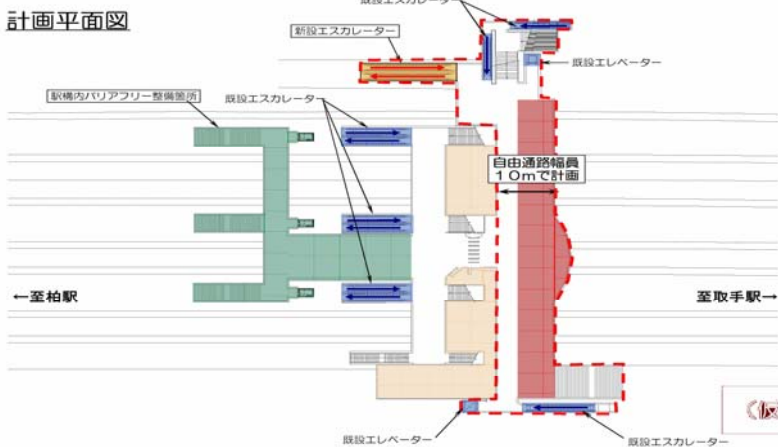
改修にあたっては、市の玄関口である我孫子駅の全体イメージを考えながら整備案をまとめていくべきだ。自由通路の拡幅と西側階段の新設を基本としながらも、自由通路デッキ部分

の確保と表玄関にふさわしい景観、駅前観光インフォメーションセンターを考慮に入れた駅。限られた財源、工期の制約の中で、ベストの改修を行うよう全力で努めていく。

スケジュールと補助金

改修スケジュールは、平成十九年から二十二年までの四年間で、市民へのパブリックコメントの実施(八月一日〜二十日)をした。補助金の活用について、当初、都市再生交通拠点整備事業補助金を考えていたが、平成十九年度に制度が見直されて、都市交通システム整備補助金が創設された。現時点では、この補助金の活用を検討している。

(仮称)我孫子駅自由通路整備イメージ図



千葉柏道路(国道十六号)について

国土交通省では、国道十六号の渋滞を解消するため、具体的なバイパスの検討に向けて新たに千葉柏道路検討会を設置(平成十八年十月)。その後、検討会は平成十九年五月三十一日、新聞折り込みで千葉柏道路の新たな計画のたたき台として「利根川沿いルート」を具体的に検討する案を全戸配布した。

現在、計画のたたき台を周知させるため、パネル展の開催、HPや広報を使って市民の声を聞くアンケート等を実施している。概略計画の決定(公表)を平成二十年三月目途として計画は進められている。

平成十三年から検討が進められていた千葉柏道路協議会が昨年六月に提言を公表、手賀沼を横断するルート案から利根川沿いを大きく迂回するルートに変更されたことは一つの成果と我孫子市では考えている。

しかし、利根川沿いのルートでも、東西に細長い我孫子市の長い区間にわたり通過することが予想され、周辺の住環境や利根川、古利根沼などの自然環境への影響、道路交通網の整備やこれまで進めてきた利根川ゆうゆう公園の整備事業など、さまざまな施策への影響が心配されている。

六月議会 都市建設常任委員会 印南の発言要旨

- 一、千葉柏道路の検討状況、市民への周知徹底に努めてほしい。(情報発信)
- 二、利根川沿いルート案になった場合課題の整理、対策、事前調査を



♪是非、ご覧下さい!!♪

- ◆我孫子市 公式ホームページ  
http://www.city.abiko.chiba.jp/
- ◆印南宏市議 HP / ブログ  
http://hiroshi4649.at.webry.info/
- ◆印南が代表を務める  
「あびこ21」ホームページ  
http://abiko21.exblog.jp/

徹底強化せよ。  
特に早急に市内に千葉柏道路対策検討委員会を組織化(副市長をヘッドに)万全な態勢で行うこと、市の考え方を整理し、まずは現況をしっかりと把握した上で問題点を整理するべき。  
特にスーパー堤防の構築が可能か否かも重要な問題だと考える。古利根沼、自然環境、利根川ゆうゆう公園に入るアクセスの安全性確保等。問題が山積している。  
三、経済活性化策につながるバイパス道路とすることが出来るか、否か? バイパスを単に通過道路としないための策をどうするか? 農地との関係。茨城県、取手市(小堀地区)との関係をどうまとめしていくのか?  
四、国道十六号、現道の渋滞改善策も同時並行して事業を進めていくように、国土交通省、千葉県に強く働きかけを行うこと。

〈東葛ニュース〉  
政令指定都市の研究會 (中間報告発表)

千葉県北西部の東葛飾地域にある六市(我孫子・柏・野田・流山・松戸・鎌ヶ谷)で構成する東葛広域行政連絡協議会(昭和四十一年三月設立)は広域行政推進等事業のひとつとして、政令指定都市問題研究会を平成十八年五月八日に設置した。  
具体的には、構成市である六市の基礎データの収集や分析、広域的課題の整理などを行い、政令指定都市制度の研究や東葛地域におけるシミュレーションなどを通して、今後の政令指定都市の議論に役立てるため、平成十八年、十九年度の二カ年で調査・研究を行っている。  
平成十九年六月議会に広域的なまちづくりの課題をまとめた中間報告を発表、十九年度中に政令指定都市に移行した場合のシミュレーションやそれに基づいた具体的な議論を行うことになっている。今後の研究会の動向が注目される。

※その他、県内の船橋、市川、松戸、鎌ヶ谷の四市は合併や政令指定都市への移行に関する研究会を四月二十四日に設置した。今後、県内で千葉市に続く政令市設置の議論が活発になっていくものと思われる。船橋市と市川市は政令市誕生の方向で熱い議論が進められている。



〈成田線関連Q&A〉

Q; 特別快速の我孫子駅停車実現について、その後の進捗はどうなっているのか?

A; 昨年十一月に九万人を超える署名を添えて、「特別快速」の我孫子駅停車の実現を求めた際のJR東日本東京支社の回答は、「今年三月のダイヤ改正での実現は難しい。しかし、次のダイヤ改正で反映できるように検討したい。」との回答だった。

市は次のダイヤ改正で、「特別快速」の我孫子駅停車の実現に向けて成田線複線化促進期成会や千葉県知事が会長を務める千葉県JR複線化等促進期成同盟、常磐線対策部会・成田線対策部会などを通じて、引き続きJR東日本東京支社に強く働きかけていきたい。

Q; 成田線増発のため四つ増発案を絞り込み、負担を含めた具体的な提案をしていくべきではないか?

A; その後の検討状況をJRに確認した所、「JR東日本としては、沿線自治体がまとめた報告書を重く受け止めている。しかし、利用者が減少している中では改善策を示すことが難しい状況にある。」との答弁でした。このため市は増発の実現に向け、期成会で案の絞り込みと沿線自治体の負担のあり方を検討し、負担を含めた具体的な提案をJR東日本にしていきたいと考えている。

事業費の負担については、JR東日本の判断が示されていないので仮定の話になるが、事業費の負担割合については、JR東日本と期成会で検討し

ていくことになると思う。従って、現時点では沿線自治体の負担額、その中で我孫子市の負担額がどのくらいになるか分かりませんが、市は成田線複線化整備基金として平成十八年度末現在で、九千九百万円を積み立ててある。条例改正が必要になりますが、この基金を財源の一部に充てたいと考えている。

Q; 布佐駅を中心に券売機等の案内を含め、鉄道利用者に対するサービス向上を図ってほしい。

A; 早朝、布佐駅で乗車券が購入できないことや構内エレベータが稼働していない理由は、午前0時三十分〜午前五時三十分まではJR駅員の仮眠時間のためと答えをもらっている。サービス低下につながらないよう強く申し入れを行った。

◆ 宏はこう考える ◆  
ミートホープ事件と  
ミスターヌードル

豚の内臓入り牛ひき肉、外国産入り北海道産牛肉、賞味期限切れ冷凍コロツケなど、北海道苫小牧のミートホープ社の偽装は何でもありの本当に腐りきった事件である。ミートホープ社の不正行為は二十四年前から始まり、牛ミンチの偽装だけでなく、賞味期限の改ざんなど十三項目に及ぶことが農林水産省の調べで確認されている。何で、こんな不正が長い間見つからず、延々と続けられたのであるのか。いくら社長が絶対的な権力者、「雲の上の人」でも、従業員のモラルはどこにあるのか? 公益通報者保護法が施

行されたのにもかかわらず、内部告発を受けた北海道と農水省の対応はあまりにもずさんだった。立ち入り検査をしても偽装を見抜けない監督官庁、まして北海道と農水省の責任のなすりあいをしている姿には閉口してしまふ。

BSE (牛海綿状脳症)、病原性大腸菌O157、雪印乳業の食中毒、雪印食品や大手食肉会社による食肉偽装事件など、食の安全、安心が強く求められたにもかかわらず、食品業界という、まさに食の安全と安心を担う業界に、このような企業が今も存在している。事実の徹底説明はもとより厳正な処罰を求めたい。

同じ食品業界でミスターヌードルこと安藤百福さんをご存知だろうか。日清食品創業者であり、今年一月に亡くなる寸前まで、現役として業務に携わり、「誰にも迷惑をかけないで死にたい」と九十六年間の自らの理想の人生を歩いた人である。

その安藤さんがお書きになった『インスタントラーメン発明王安藤百福かく語りき』を読んだ。創業者の生の声、独創的な考えと不屈の精神に感銘した。

安藤さんは頼まれて理事長になった信用組合の倒産で全財産を失い、天国から地獄へ突き落とされた経験をしている。その後、彼は倒産にも負けず、四十八歳で世界初の即席めん「チキンラーメン」を発明、日清食品を創業、六十一歳の時、世界初のカップめん「カップヌードル」を発明した。彼の言葉に、「ラーメンを売るな。食文化を売れ」「もしも私が体に悪いものを売っていたのなら、土下座してすぐに会社をたたみます」「食のあり様が乱れた国は、必ず衰弱する。」「食

足世平」が私の信念である。」とか、「人類は麺類」。すばらしい言葉の数々に脱帽、そこには商品への自信と食品に対する熱い思いを感じることが出来る。

前者のミートホープ社と比べようがないが、経営者もいろいろあることに驚く。利益ばかり追求する社長もいれば、安藤さんのように即席めん製の法特許を独占せず、要望があれば使用許諾契約を交わし、広く公開した経営者もいる。

彼の言葉に、「企業が利益を追求することは当然のことで、決して間違っていない。だが、何が何でも利益追求型経営に陥ってしまうと、自社、自社製品のみ視線が注がれ、企業が視線を合わせなければならぬ社会や消費者が脳裏に浮かんでこなくなってしまう。」社会や消費者があつての企業である。経営者としての強い信念が感じられる。旧ミートホープ社の経営陣は故安藤さんの生き方を今、どのよう

《ロの生 雑感》  
想つよの詩の数々



昭和の歌謡曲黄金期を代表する作詞家、阿久悠(あく・ゆう、本名深田公之)ふかだひろゆき)さんが、八月にがんで亡くなつた。「歌は世につれ、世は歌につれ」と他人はよく言うが、私の青春時代は作詞家、阿久悠先生の歌謡曲、全盛期。本当に良く口ずさんだものだ。「また逢う日まで」「北の宿から」「UFO」など数え上げたら切がない。素晴らしい阿久悠先生の詩の世界は私たちが忘れてしまった叙情の原風景を現代に蘇らせてくれる素

晴らしい作品ばかりだと思つている。その中で、私のカラオケ十八番の一つ、河島英五の「時代おくれ」を紹介したい。

「時代おくれ」

作詞：阿久悠 作曲：森田公一

一日二杯の酒を飲み  
さかなは特にこだわらず  
マイクが来たなら 微笑んで  
十八番(おはこ)を一つ 歌うだけ  
妻には涙を見せないで  
子供に愚痴を聞かせずに  
男の嘆きは ほろ酔いで  
酒場の隅に 置いて行く

目立たぬように はしやがぬように  
似合わぬことは無理をせず  
人の心を見つめつけける  
時代おくれの男になりたい

私は森繁久弥さんの作詞したテレビドラマ「七人の孫」の主題歌、「人生賛歌」も良く口ずさむ大好きな歌の一つだ。東京オリンピックの開かれた昭和三十九年から四十年代のT.Vドラマ、当時四十九歳だった森繁久弥さんが演ずるおじいちゃん、孫役として、いしだあゆみ、松山英太郎、お手伝い役の悠木千帆(樹木希林)さんがデビューした作品。七人の孫や家族との人間愛を描き、あたたかい気持ちになつたことを今も鮮明に覚えてる。そこには理想の家庭、家族のあり方が、あつたように感じている。



「人生賛歌」

作詞：森繁久弥 作曲：山本直純

どこかでほほえむ ひともありや  
どこかで泣いてる 人もある  
あの屋根の下 あ窓の部屋  
いろんな人が生きてる  
どんなに時代が移ろうと  
どんなに世界が変わろうと  
人の心は変わらない  
悲しみに喜びに  
今日もみんな生きてる  
ただただこれだけは言える  
人生とはいももの、いいものだ  
人生とはいももの

今聞いても、自然と涙が浮かんでくる、いい詩だと思つている。

《宏のつぶやき》

人生のどんな問題も解決する知恵として、ブログでこんなメッセージを発見しました。「鏡の法則」といいます。インターネットに接続し、検索エンジンで探して下さい。全三十四ページを無料で拝読できます。感動と感謝のメッセージに私は泣きました。幸せな出会い、感謝の気持ちを持つてらるきっかけとなれば幸いです。

宏と語る  
小さな小さな  
ティーパーティー  
受付中!!

〈お気軽に声をおかけください〉

印南 宏 後援会  
〒270-1198 我孫子市日の出 1131  
(日本電気労働組合我孫子支部)

印南 宏 自宅  
布佐平和台7-1-8  
TEL 7189-1598  
E-MAIL innami@mqd.biglobe.ne.jp